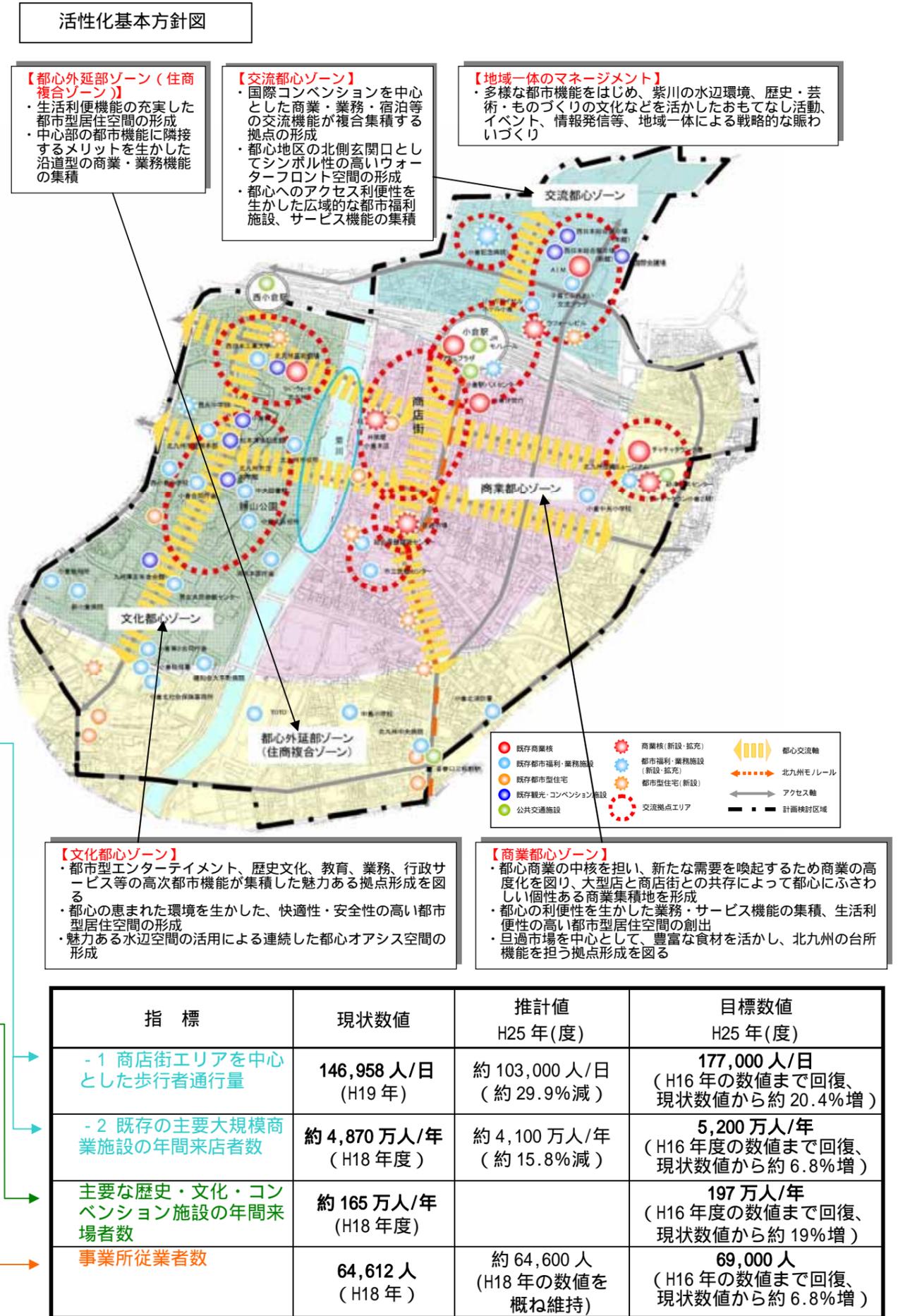
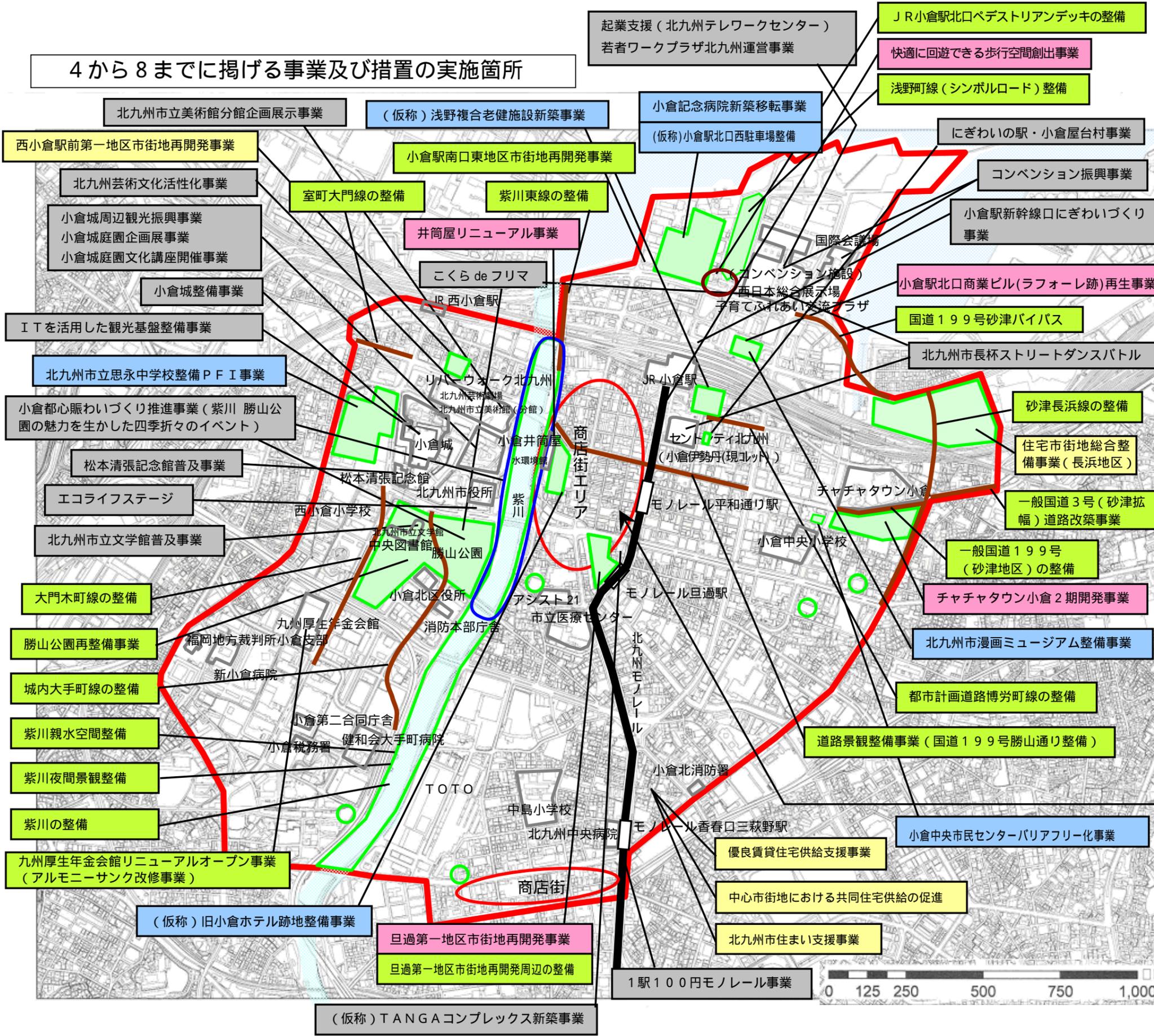


[6] 中心市街地の活性化の基本方針	<p><b>【基本的な考え方】</b> 『世界の環境首都を目指す北九州市の広域都市圏の中心核（顔）にふさわしい機能・環境・つながりを創出する先進都心・小倉』</p> <p><b>方針1</b> 多彩な集客拠点が集まり、来街・回遊を誘う「広域交流都心」づくり <b>方針2</b> 歴史・文化を核とした魅力とイメージを高める「文化発信都心」づくり <b>方針3</b> 誰もが快適に生き生きと暮らし活動できる「活力創出都心」づくり <b>方針4</b> 街の魅力や賑わいを共に創り、進化を続ける「ネットワーク都心」づくり</p>
2 中心市街地の位置及び区域	<p>小倉都心の活性化基本方針図に示す交流都心・商業都心・文化都心・都心外延部の4ゾーンを基本として、「多核ネットワーク都心」の要となる、多様な都市機能の集積強化や賑わい交流の創出等を重点的に図る交流拠点エリアに加え、住宅・商業・サービスを含む新たな都心居住空間の創出が見込まれる範囲を含めた一団のエリアを中心市街地として設定する。 <b>【区域面積】</b> 約380ha</p>
3 中心市街地の活性化の目標	<p><b>目標1</b> <b>広域商業拠点の賑わいの向上</b> 大規模商業核と商店街とが共存する広域商業拠点を中心として、吸引力のある集客核の整備や商店街エリア・個店・まちの魅力づくりと共に、多様な来街者にとってのアクセス環境を向上させることなどにより、魅力ある広域商業核を中心とした賑わい広がるまちづくりを進め、都心エリア全体での回遊拠点や広域集客力の強化を図ることを目標とする。</p> <p><b>目標2</b> <b>文化的で非日常的な都心の魅力向上</b> 都心の魅力ある商業や都市基盤の整備に加えて、自然・歴史・芸術・文化及びコンベンション等の小倉ならではの豊富な地域資源を最大限に活かして、消費者の多様化・高度化に対応した、歴史・文化等の地域資源を活かした文化の薫るまちづくりを進め、文化的で非日常的な魅力の向上を図ることを目標とする。</p> <p><b>目標3</b> <b>昼間人口の拡大による活力向上</b> 人や企業から注目される活力あるまちづくりに向けて、最近増加しつつある都心居住(定住人口)に加えて、就業を支える多様な機能の充実を図り、小倉都心地区総体として交流人口(昼間人口)の拡大を図ることにより、街の活力やポテンシャルを高めていくことを目標とする。</p>
[2] 計画期間の考え方	平成20年7月～平成26年3月(5年9ヶ月)
[3] 成果指標の設定の考え方	<p><b>目標1の成果指標</b> <b>商店街エリアを中心とした歩行者通行量、既存の主要大規模商業施設の年間来店者数</b> ・目標1の「広域商業拠点の賑わいの向上」に関する成果指標は、都心全体における広域商業拠点の賑わいの状況について、客観的に評価することができ、定期的なフォローアップが可能な指標であるとともに、市民にも理解されやすい次の指標を設定する。 - 1 商店街エリアを中心とした歩行者通行量(エリア内主要調査ポイント11地点(土・日・平日の3日平均値)の合計値) - 2 既存の主要大規模商業施設の年間来店者数(井筒屋、リバーウォーク北九州、チャチャタウン小倉、セントシティ北九州(小倉伊勢丹(現コレット))、アミュプラザ) 都心エリア内の公共交通機関の利用者数(参考指標)(JR・バス・モノレールの1日平均乗降客数の合計値) ・公共交通機関の利用促進による賑わいの向上への効果を把握するため、「都心エリア内の公共交通機関の利用者数」を参考指標とする。</p>
[4] 具体的な目標数値の考え方	<p><b>目標2の成果指標</b> <b>主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数</b> ・目標2の「文化的で非日常的な都心の魅力向上」に関する指標は、都心全体における文化的で非日常的な都心の魅力の状況について、客観的に評価することができ、定期的なフォローアップが可能な指標であるとともに、市民にも理解されやすい次の指標を設定する。 主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数(小倉城周辺施設(小倉城、小倉城庭園、松本清張記念館、水環境館)、北九州芸術劇場、北九州市立美術館分館、北九州市立文学館、アルモニーサンク北九州ソレイユホール、北九州市漫画ミュージアム、北九州国際会議場、西日本総合展示場(新館、本館)など)</p> <p><b>目標3の成果指標</b> <b>事業所従業者数</b> ・目標3の「昼間人口の拡大による活力向上」に関する成果指標は、都心の活力向上に資する昼間人口(事業所従業者数・居住人口)について、客観的に評価することができ、定期的なフォローアップが可能な指標であるとともに、市民にも理解されやすい次の指標を設定する。 事業所従業者数(民営)(事業所・企業統計調査に基づく都心エリア内の集計値) 中心市街地の居住人口(参考指標)(住民基本台帳に基づく町丁別単位による集計値)</p>



# 4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



## 位置の特定できない事業（全体）

- ・(仮称)小倉都心部景観づくり事業
- ・クールシティ中枢街区パイロット事業(民間施設のヒートアイランド対策)
- ・小倉都心サイン整備
- ・中心市街地内の移動快適性向上のための道路整備
- ・小倉駅周辺交通アクセス環境整備
- ・提案型まちづくりサポーター支援事業
- ・中心市街地都市型ビジネス振興事業
- ・小倉都心部自転車通行環境整備事業
- ・魅力ある繁華街づくり推進事業
- ・堺町安全・安心センター整備事業
- ・情報誌「小倉季行」事業
- ・都心・副都心巡回清掃事業
- ・小倉都心プロモーション事業(We Love小倉プロジェクト)
- ・都心部「通り名」命名推進事業
- ・九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業
- ・交通結節点整備事業
- ・西鉄バスロケーションシステム事業(にしてつバスナビ)
- ・ICカード乗車券システムの導入(スゴカ)
- ・ICカード事業(ニモカ)
- ・都心100円周遊バス
- ・モビリティマネジメント事業
- ・広告付きバスシェルター整備事業
- ・ちょこ乗り交通 タウンモビリティ事業(自転車共同利用支援事業)
- ・小倉イルミネーション(大乾杯大会含む)
- ・ナイトツアー事業
- ・小倉発!エコドラプロジェクト
- ・紫川エコリバー構想推進事業
- ・街なかオフィス立地促進事業

## 商店街エリアを中心とした事業

- ・魚町銀天街ショッピングモール化事業
- ・インフォメーション事業
- ・チャレンジショップ事業
- ・共通駐車券事業
- ・魚町銀天街ICポイントカードシステム事業
- ・(仮)京町銀天街ショッピングモール化事業
- ・こくらハローズ事業
- ・おもてなしトイレ事業
- ・小倉まちなかいちおし自慢運動
- ・小倉地区賑わい回復イベント事業
- ・アーケード内の道路空間を利用した情報発信事業
- ・ちゅうぎん通り歩道改修事業
- ・ものづくり・歴史の散歩道 室町京通り事業
- ・都心の公共空間活用事業
- ・空き店舗賃借料補助制度の拡充
- ・魚町3丁目複合商業施設開発事業
- ・魚町商店街コミュニティスペース建築事業
- ・鳥町食道街アーケード等改築事業
- ・ノーマイカー得々キャンペーン

施策区分の色分け

市街地の整備改善

都市福利施設の整備

街なか居住の推進

商業の活性化

公共交通・その他

...優良賃貸住宅